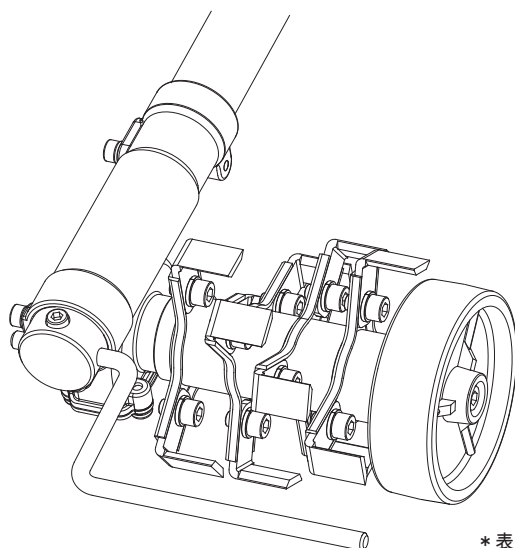


刈払機アタッチメント 草削りカッター

ロータリーウィーダー **Rotary Weeder** 取扱説明書

ショートタイプ スタンダードタイプ ロングタイプ
ARW-TK10D / ARW-TK10S / ARW-TK10L

スタンダードタイプ マルチタイプ
株間除草カバー付き 削幅変換シャフト付属
ARW-TK10SK / ARW-TK10LM



*表紙図はスタンダードタイプです。

このたびは、ロータリーウィーダーをお買い上げ賜り厚くお礼申し上げます。
ご使用前に必ず、この取扱説明書をよく読んで頂き、使用上の注意事項、
本製品の能力、使用方法等ご理解のうえ正しく安全にお使い下さる様お願い
いたします。

この取扱説明書は、必ずお手元に保管してください。

目次

安全上のご注意	P. 1
シンボルマークについて	P. 2
仕様	P. 2
各部の名前	P. 3
ご使用前に	P. 3
取り付け	P. 4
キワ削り時の調整	P. 7
アジャストバー/ 株間除草カバーの取り付け	P. 8
削り深さの調整	P. 8
カッターの取り付け	P. 9
オプション	P. 9
メンテナンス	P. 10
点検一覧	P. 10

**取付け、ご使用前に
必ずお読みください**

ARW-TK10D/TK10S/TK10L/TKSK/TK10LM are
Japanese specifications.
Please note that the warranty is valid only Japan.

IDECH 株式会社 **アイデック**
IDECH CORPORATION

安全上のご注意 必ずお守りください

ここに書かれてある注意事項はお使いになる方や他の人々への危害及び財産への損害を未然に防止するために必ずお守りいただきたい事項です。表示内容の説明と安全上のご注意は以下のようになっていますので必ず内容をご確認のうえ、本製品をお使いください。



危険

この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が極めて大きいと想定される」内容です。



警告

この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

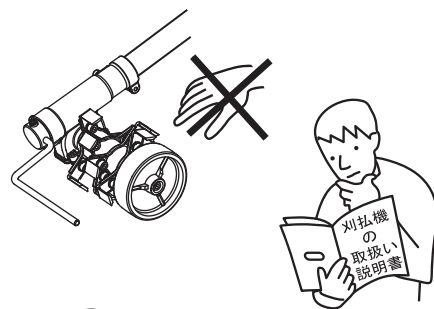
なお、**注意**に記載した事項でも、場合によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも重要な内容を記載していますので、必ずお守りください。



危険

回転中のカッター一部に顔や身体を近づけないでください。
誤って指などが巻き込まれますと重大な事故を引き起こします。

刈払機本体の取扱説明書も必ずお読みください。



警告

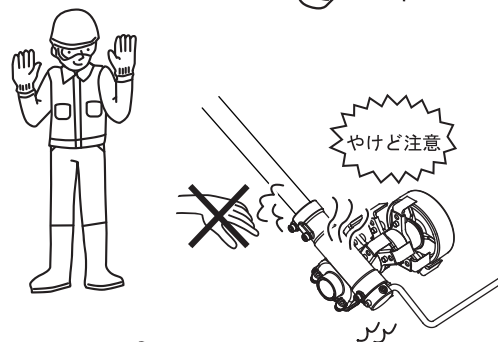
作業中は必ず保護メガネ、長ぐつを着用してください。
本体の取扱いは必ず手袋を着用して行ってください。
安全で動きやすい服装で作業を行なってください。
アクセサリや回転部に引掛りやすいものは身に付けしないでください。

本製品を使用後に触れる時は温度が下がってからにしてください。

本製品は作業中、シャフトやギヤの回転摩擦で高温になりますので、やけどの原因となります。

本機は作業中、小石や土が飛散する場合があります。
重大な事故につながる恐れがありますので、作業中は身体を本機に近づけないようにし、周囲には十分注意してください。

草などの異物が巻き付き、カッター部の回転が止まった時は必ずエンジンを止めて異物を除去してください。



注意

除草作業及び弊社が推奨する用途以外で使用しないでください。

取扱説明書にない取り付け、お手入れや修理・改造等しないでください。

ケガ、故障、器物破損の原因となります。

落下させる・障害物に強くぶつける等の大きな力や衝撃を与えないでください。

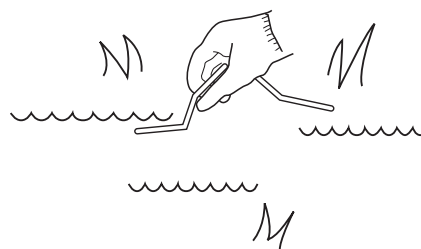
カッター部・本体等の破損の原因となります。



※イラストはスタンダードタイプです

エンジンを始動する場合にはカッター部を地面から浮かし、エンジンをかけてください。

エンジン始動と同時にカッター部が回転することがあり、思わぬ事故の原因となります。



針金や紐等、巻き込む恐れのある異物は作業前に取り除いてください。

ご使用後は、カッター部を取り外し、水洗いと拭き取りを十分にしてください。

※作業終了後、お手入れを行ってください。

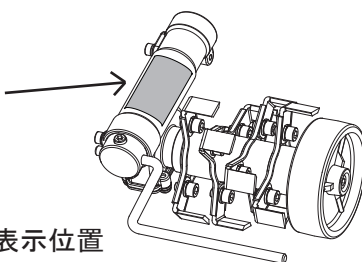
カッター部に破損や変形などの異常が見受けられる場合は直ちに作業を中止し、新しいカッターと交換してください。

ギヤケースは必ず定期的にグリースの注入をしてください。

グリースが不足するとギヤ破損等の故障の原因となります。

シンボルマークについて

シンボルマーク	意味	シンボルマーク	意味
	ご使用前に必ず取扱説明書をよく読み、内容を十分理解した上で正しく取扱ってください。		作業中に人身事故が起きる恐れがありますので必ず保護具を着用してください。
	不用意にカッター部へ手や足など身体を近づけないでください。重症を負う危険性があります。		やけどする恐れがありますので高温部は不用意に触れないでください。



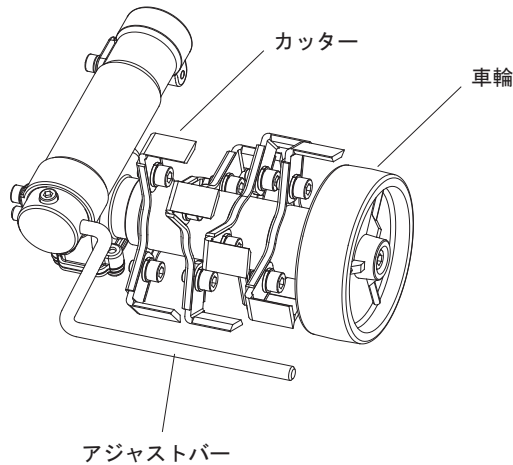
本機ラベル表示位置

仕様

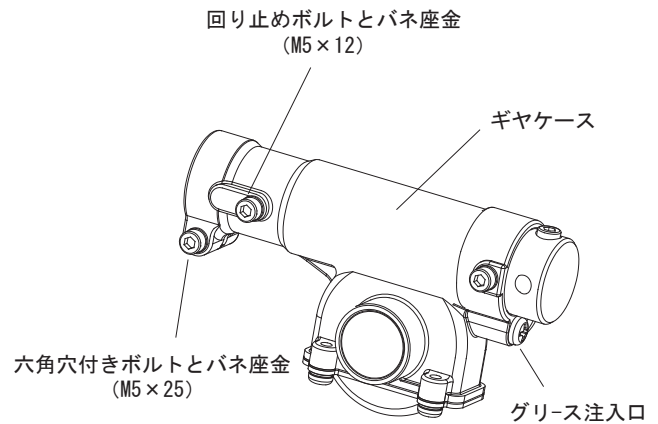
※イラストはスタンダードタイプです

型 式	ARW-TK10D	ARW-TK10S	ARW-TK10SK	ARW-TK10L
本体寸法(D×L×H)	202mm×170mm×102mm	202mm×180mm×102mm	202mm×180mm×140mm	202mm×270mm×102mm
重 量	1.3kg	1.6kg	1.7kg	2.1kg
削 り 幅	50mm	100mm	200mm	200mm
ローター径(最大)	回転直径Φ100(117)mm			
減速機構	ウォームギヤ式			

各部の名前



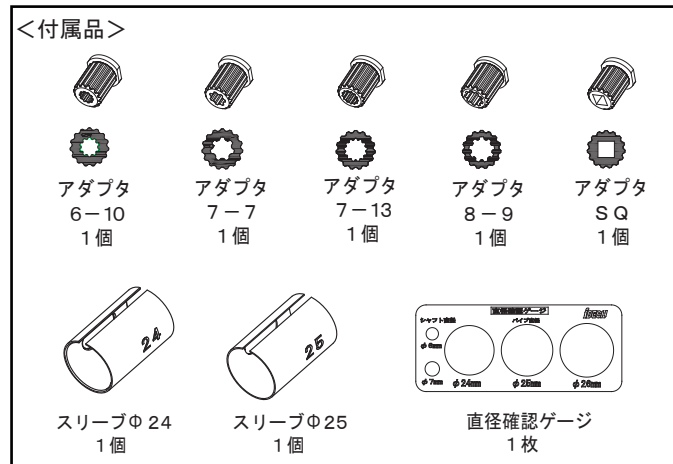
※イラストはスタンダードタイプです



お客様で別途ご用意頂く工具

- ・六角レンチ (4mm)
- ・六角レンチ (5mm)
- ・ラジオペンチ
- ・プラスドライバー

刈払機への取付けに必要な付属品「取り付けキット」



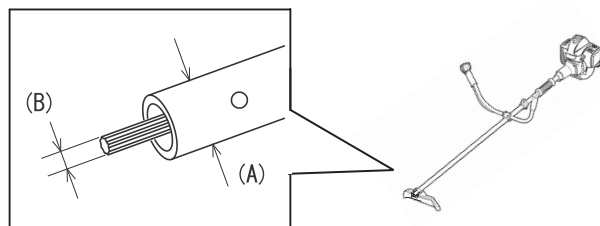
ご使用の前に

● 刈払機アタッチメント取付寸法仕様

⚠ 注意

本製品は、右記寸法の刈払機でなければ取付けられません。
本製品を取付けされる前に刈払機の仕様をご確認ください。

(詳細はP. 4~7 をご覧ください。)



(A) アウターパイプ外径 (mm)	(B) ドライブシャフト形状		
	外径 (mm)	歯数	歯形
φ 24 mm	6	10	スプライン
φ 25 mm	7	7	スプライン
φ 26 mm	7	13	セレーション
φ 26 mm	8	9	スプライン
のいずれか	□ 5.2	—	スクエア

- 本製品が性能を発揮し長くご使用頂くためには、適切な使用と定期的なメンテナンスが必要不可欠となります。

1. 使用上の注意

① 激しい衝撃を与えないでください。

- 激しく衝撃を与えると、カッターやギヤケースが変形破損する可能性があります。カッター一部に亀裂や割れが発生すると、大変危険です。

② 石など固い物の粉砕に使用しないでください。

- 本製品の用途は草削りです。石など固い物の粉砕に使用されるとカッターが破損し危険です。

2. メンテナンス (必ずエンジンを停止させてメンテナンスしてください。)

① 巻き付いた草や異物の除去

- 草や異物が巻き付いたまま使用されると、本製品ならびに刈払機への負担が大きくなり故障の原因になります。

② 使用後に付着した水分は乾いた布できれいに拭き取る

- 部品によっては錆びます。錆により思わぬ破損事故の原因となる可能性がありますので、十分に拭き取ってください。

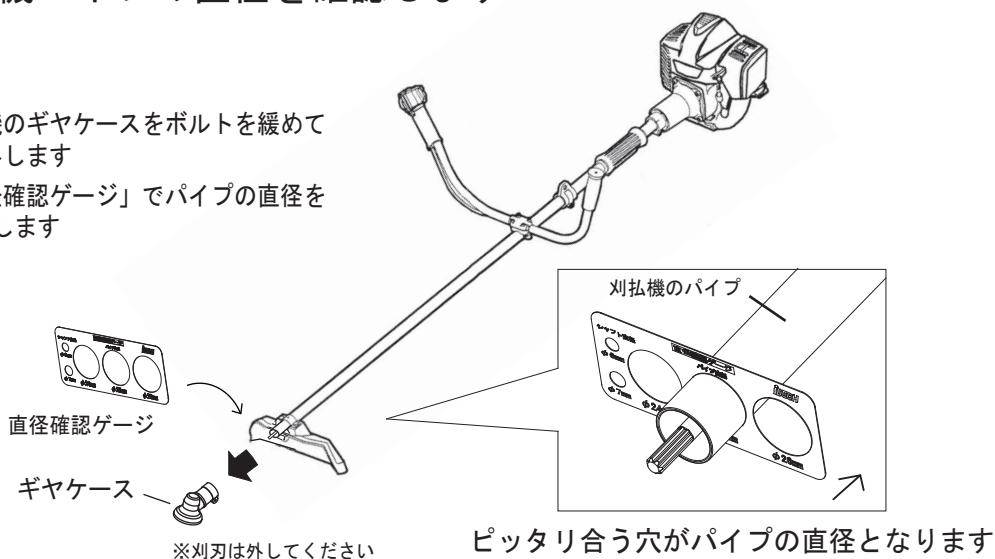
③ 使用前にカッター部分に変形や破損が無いか確認する

- 変形や破損したカッターを使い続けると思わぬ事故の原因となり危険です。カッターの変形や破損を確認された場合は直ちに新品と交換してください。

取付け

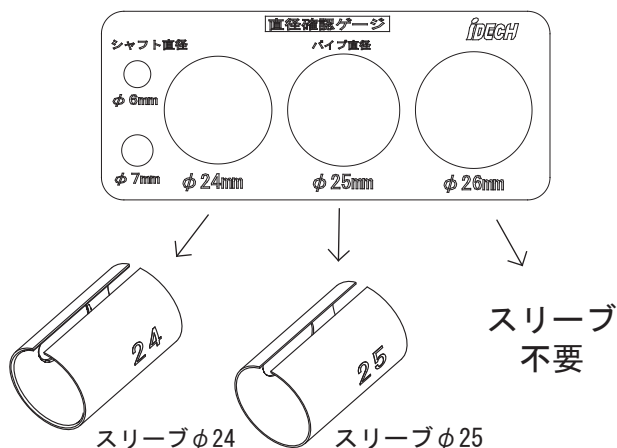
1. 刈払機パイプの直径を確認します

- ① 刈払機のギヤケースをボルトを緩めて取り外します
- ② 「直径確認ゲージ」でパイプの直径を確認します



※ 刈払機のパイプが「直径確認ゲージ」の穴全てに入らない場合 ⇒ 適合しません
// 入っても隙間が大きい場合

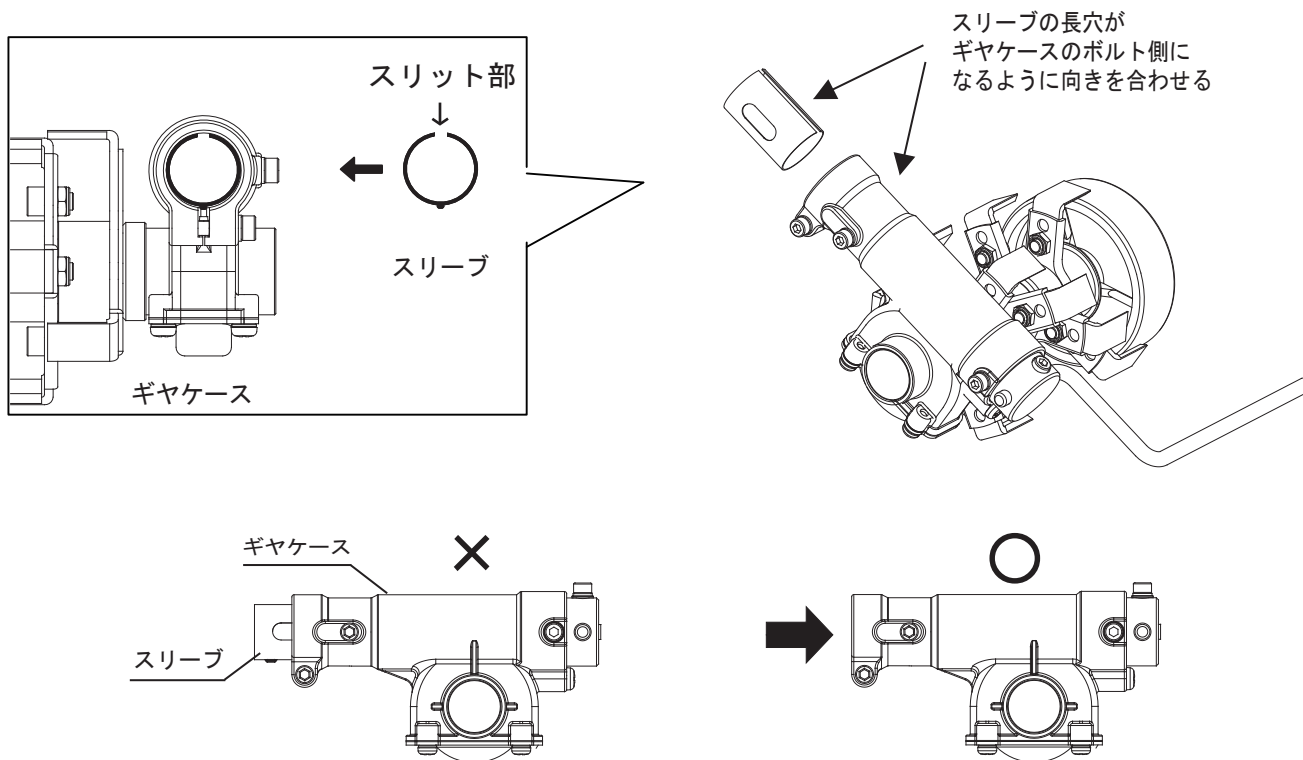
2、パイプ径に合ったスリーブを選択します



「直径確認ゲージ」のφ24穴に合ったパイプは、付属品の「スリーブφ24」をお使いください。
 「直径確認ゲージ」のφ25穴に合ったパイプは、付属品の「スリーブφ25」をお使いください。
 「直径確認ゲージ」のφ26穴に合ったパイプは、スリーブ不要です。

※刈払機によってパイプの寸法にバラつきがあるため、付属のゲージでは確認が困難な場合があります。
 その場合はお客様にて寸法を測ってください。

3、スリーブをギヤケースに挿入します

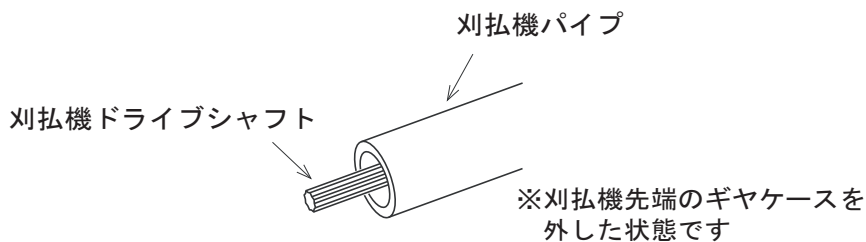


※ スリーブ全体が入るまで確実に挿入してください

スリーブの入れ忘れや、間違った選択・挿入をされますとギヤケースが破損する
 可能性がありますのでご注意ください。

4、アダプタを選択します

刈払機のドライブシャフト先端形状に合った「アダプタ」を付属の5種類から選択します。

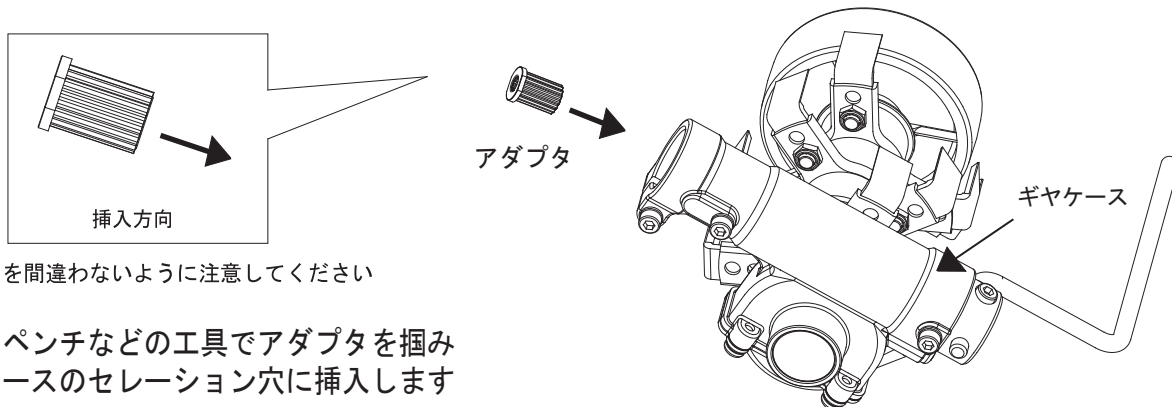


ドライブシャフト形状				アダプタ	
外径 (mm)	歯数	歯形	形状		
6	10	スプライン		→	アダプタ 6-10
7	7	スプライン		→	アダプタ 7-7
7	13	セレーション		→	アダプタ 7-13
8	9	スプライン		→	アダプタ 8-9
□5.2	—	スクエア		→	アダプタ SQ

穴形状を確認

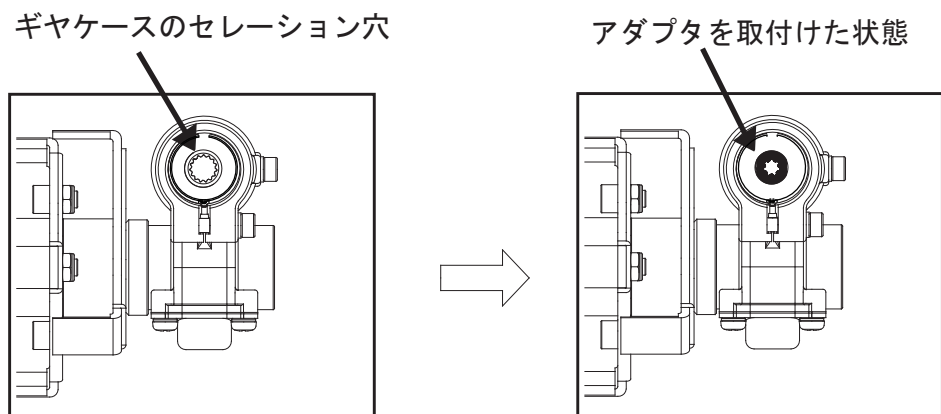
※間違ったアダプタを選択されると正常に動作しなくなりますので必ず「アダプタ」の穴にドライブシャフトが入るかご確認ください。

5、選択したアダプタを本体に取り付けます



挿入方向を間違わないように注意してください

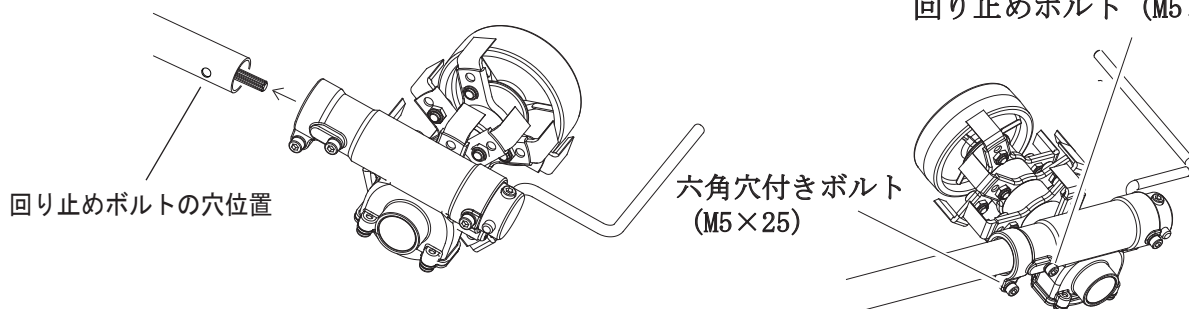
※ラジオペンチなどの工具でアダプタを掴みギヤケースのセレーション穴に挿入します



6、ロータリーウィーダー本体を取付けます

①刈払機の「回り止めボルトの穴位置」にかかわらず、奥まで差し込み、向きを調整してください。

回り止めボルト (M5×12)



回り止めボルトの穴位置

六角穴付きボルト (M5×25)

②4mmの六角レンチを使用して六角穴付きボルト (M5×25) と回り止めボルト (M5×12)

を締付けてください。※締め付けすぎると破損する恐れがありますのでご注意ください。(締付トルク 4.0~4.3N・m)

※取付け終了後、刈払機のパイプにしっかりと固定されていることを確認してください。

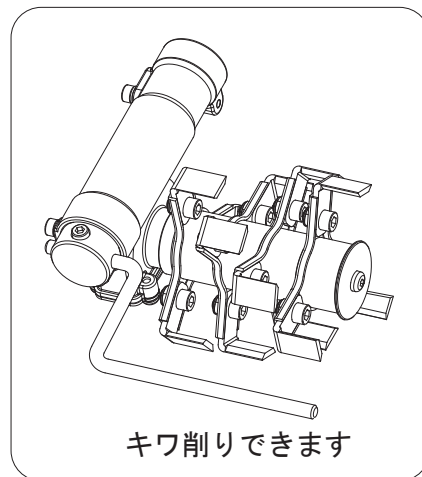
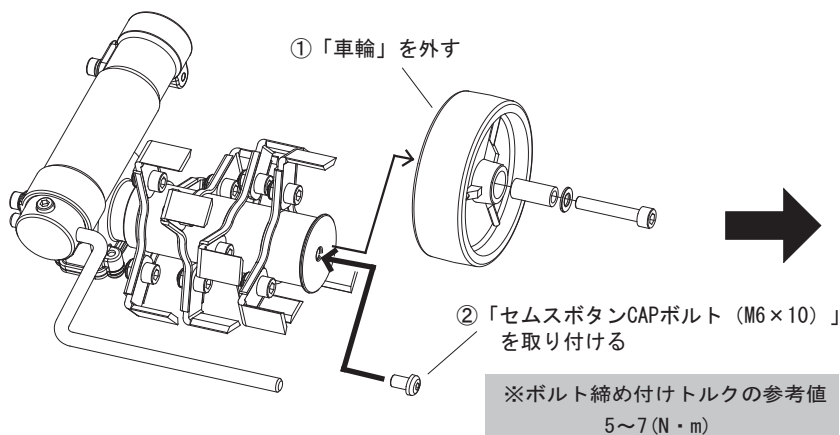
高減速ギヤシステム採用の為、**ローターは手で回すことはできません。**

刈払機に穴加工をする場合	刈払機に穴加工をしない場合
<p>① エンジンと本製品の向きを合わせて取り付けてください。</p> <p>② 本製品内部のギヤと刈払機のドライブシャフトが噛む所で回り止めねじを締めて、仮止めしてください。(竿にねじの先端が押し付けられて傷が入る程度で結構です。)</p> <p>③ 本製品を取り外し、ねじ先端の傷 (ポンチング位置) をドリル等で穴あけ加工してください。 ※切粉は確実に除去してください。</p>	<p>① エンジンと本製品の向きを合わせて取り付けてください。</p> <p>② 本製品内部のギヤと刈払機の軸が噛み合う所で回り止めボルトを締めてください。</p>
<p>ネジ先端の傷</p>	<p>回り止めボルト</p>

※ 上記方法による取付け上の加工 (変形) に関する刈払機の保証は弊社では致しませんのでご了承願います。

キワ削り時の調整

壁などのキワを削る時は「車輪」を5mmの六角レンチで取り外し、付属品の「セムボタンCAPボルト(M6×10)」を4mmの六角レンチで取り付けてください。



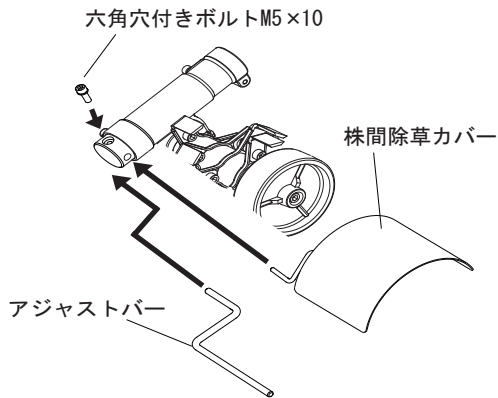
※イラストはスタンダードタイプです

アジャストバー/株間除草カバーの取付け

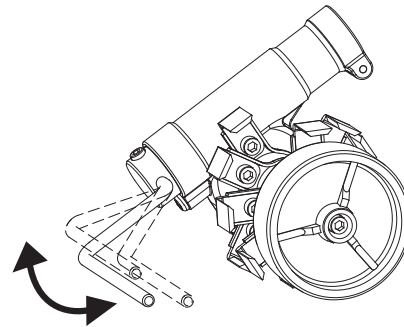
ギヤケース先端部に「アジャストバー」もしくは「株間除草カバー」を挿入し、下図のように角度調整します。角度調整後、「六角穴付きボルトM5×10」を4mmの六角レンチで取り付け、「アジャストバー」もしくは「株間除草カバー」を固定してください。

※角度調整後は「六角穴付きボルトM5×10」をしっかりと締め付けてください。
 作業中に動くとカッターに接触し、破損の原因となります。
 ※株間除草カバーはカッター部と接触しないように注意して取り付けてください。

- ① 「アジャストバー」もしくは「株間除草カバー」を挿入する



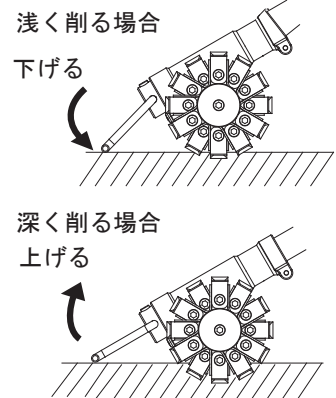
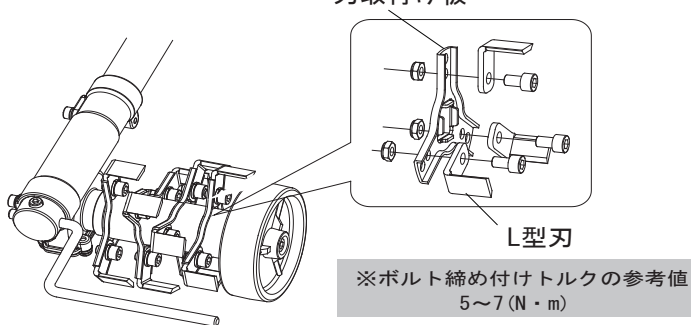
- ② 「六角穴付きボルトM5×10」を取り付け「アジャストバー」もしくは「株間除草カバー」を固定する



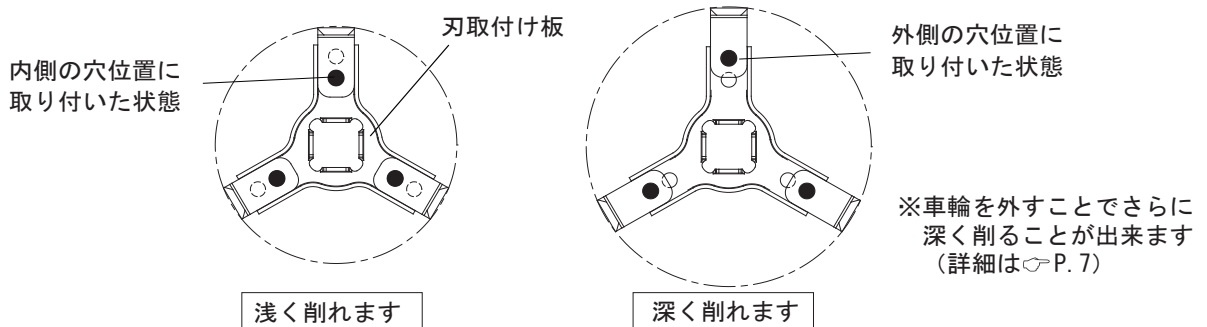
削り深さの調整

1. 「アジャストバー」の角度を調整することで削り深さを変える
 浅く削る場合は「アジャストバー」を下げ、深く削る場合は「アジャストバー」を上げる事で削り深さを調整できます。

2. 「L型刃」の取付け位置を変えて削り深さを調整する
 ① 5mmの六角レンチと10mmのスパナを使って「L型刃」を「刃取付け板」から外します。



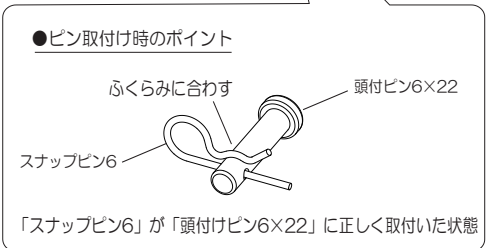
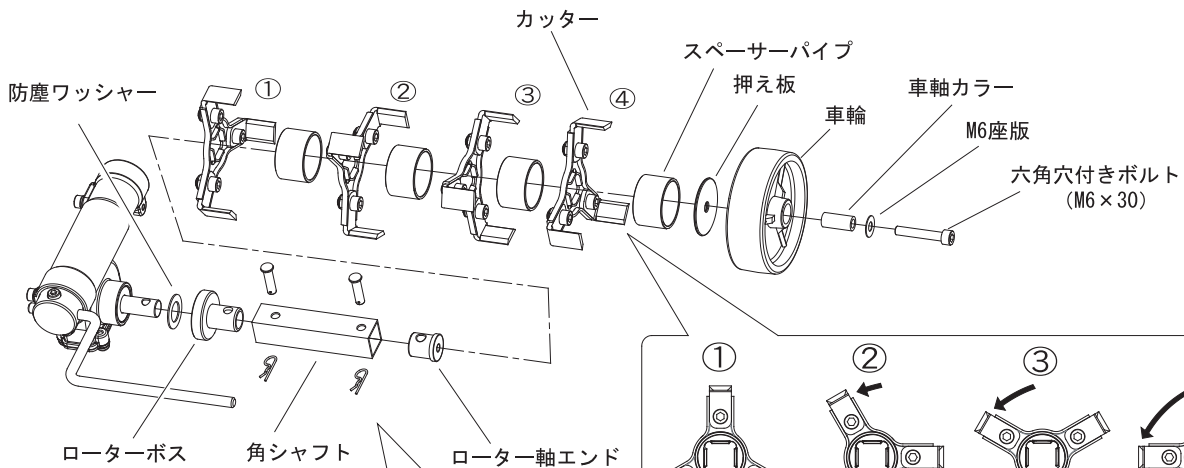
- ② 「刃取付け板」の「L型刃」を取付ける穴位置によって削り深さが調整できます。



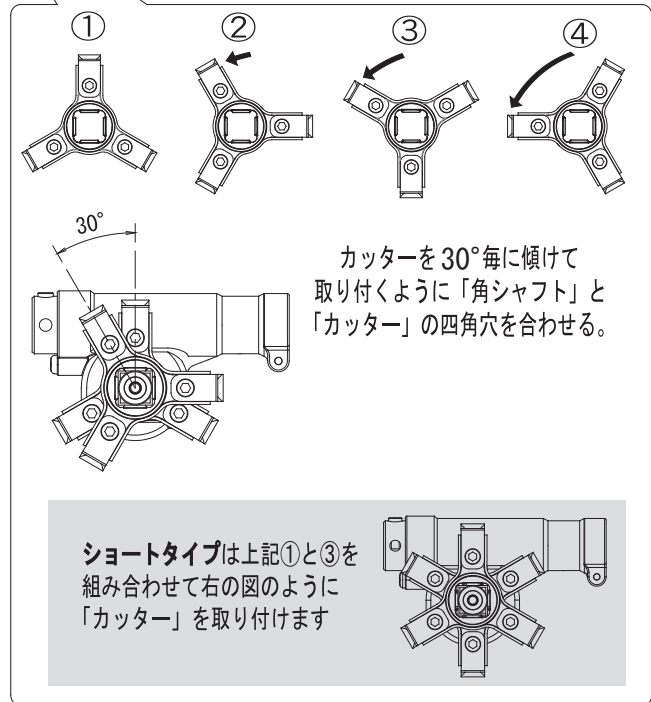
本製品は高さ10cm程度の雑草削りを対象としております。
 10cm以上の長くて密集した雑草や硬い地面では上記のような調整を行ってもうまく削り取ることが出来ないことがあります。

カッターの取付け

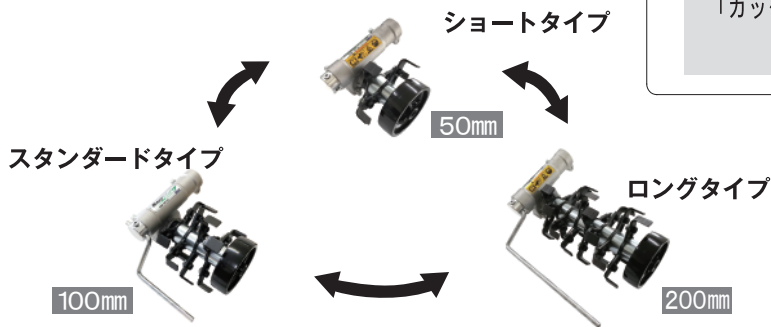
下図の構成に従ってカッターを取付けます。(カッターの向きに注意してください)



※イラストはスタンダードタイプ



中心軸の交換で3パターンの削り幅

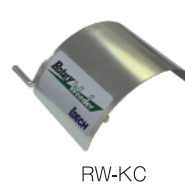


オプション

延長キット※	延長キット2・4 RW-DSEK (ショート⇒スタンダード)
	延長キット2・8 RW-DLEK (ショート⇒ロング)
	延長キット4・8 RW-SLEK (スタンダード⇒ロング)

替りセット	ショート用 RW-SC
	スタンダード用 RW-SB
	ロング用 RW-SA

株間除草カバ
(スタンダード)



畑の株間除草に最適!

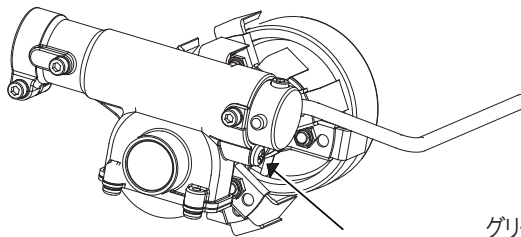
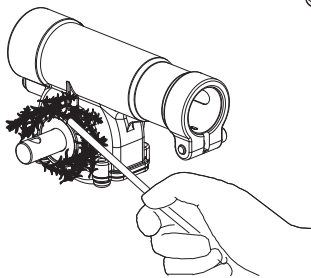
※ 短縮される場合は角シャフトのみお求めください

メンテナンス

※メンテナンスの際は必ずエンジンを停止させ、手袋を着用して行ってください。

巻き付いた異物の除去

定期的にかッターを取り外して巻き付いた草や異物を除去します。



グリースの補充

グリース注入口のねじをプラスドライバーで取外し、リチウム系グリースを補充します。

※目安…30時間に1回(10g程度)

点検一覧

※点検の際は必ずエンジンを停止させ、手袋を着用して行ってください。

こんな時	点検する所	する事	参照ページ
カッターの回転が悪い	▶ 本製品が刈払機に確実に取り付けられていますか。	▶ 確実な取り付けを行ってください。	▶ 4
	▶ カッターに草など異物が巻き付いていませんか。	▶ 草など異物を除去してください。	▶ 10
	▶ カッターに変形はありませんか。	▶ お買い求めの販売店、もしくは弊社で交換修理してください。	
	▶ カッターとギヤケースの間に石や土などが挟まっていませんか。	▶ カッターとギヤケースの間に挟まった石や土を除去してください。	▶ 10
	▶ ギヤケースにグリースを注入していますか。	▶ 定期的グリースを注入してください。	▶ 10
	▶ 刈払機は故障していませんか。	▶ 刈払機の点検をしてください。	
異音がする 振動が大きい	▶ カッターに草など異物が巻き付いていませんか。	▶ 草など異物を除去してください。	▶ 10
	▶ カッターに変形はありませんか。	▶ カッターを交換してください。	▶ 10
	▶ カッターを取付けるシャフトに変形していませんか。	▶ お買い求めの販売店、もしくは弊社で交換修理してください。	
	▶ ギヤケースにグリースを注入していますか。	▶ 定期的グリースを注入してください。	▶ 10
	▶ 本製品が刈払機に確実に取り付けられていますか。	▶ 取り付け手順を確認してください。	▶ 4
	▶ 刈払機の出力部(軸)は曲っていませんか。	▶ 刈払機の点検をしてください。	

- 上記点検以外にもお手持ちの刈払機の点検もお願いします。
- 本製品に関して上記の点検をしても直らない、またはその他ご不明な点がありましたらお買い求めの販売店、もしくは弊社にお問い合わせください。
- お客様で修復不可能なものはお買い求めの販売店、もしくは弊社にご相談ください。